

うめかも通信

第16号

発行所

住民投票を求める吹田市民ネットワーク

吹田市泉町1-21-4

電話&FAX

06(6192)7033

署名1万筆を超える！

サポーター（受任者）は4千人を超える勢い残り一週間で3万筆を超えよう

いよいよ署名を集める期間もあと1週間になりました。ネットワーク事務所には連日、集まった署名簿がどっさりと届いています。「署名簿がほしい」「サポーターに登録してほしい」などのうれしい依頼が寄せられています。



あと1週間、署名簿を預けて回収しましょう

しかしまだ事務所に届いた署名は1万筆。目標の3万筆には到達していません。このままでは雰囲気はいいものの、肝心の署名がそれほど集まらず、3万筆を下回ることになる可能性もあります。

サポーター（受任者）のみなさん、まず今お手持ちの署名簿を、お近くの地域や団体の責任者まで届けてくださるか、連絡会事務所まで届けてください。そしてさらに新たな署名簿でもう一人、二人と署名を集めてください。サポーター（受任者）の登録は24日まで可能です。最後まで署名とともに、署名を集める人を増やしましょう。

吹田市の昨年末まで、市民委員を公募し、自治基本条例を制定しようとしていますが、この住民投票運動が「想定外」だったのか、あわてて自治基本条例を修正しようとしています。原案では、住民投票に関して18歳以上の者が（中略）50分の1以上の連署をもって住民投票の実施を請求することができる。

議員は、市政の重要事項について、住民投票の実施に関する条例案を議会に提出することにより住民投票を発議することができる。市長は、市政の重要事項について、住民投票の実施に関する条例案を議会に提出することにより住民投票を発議することができる。となっていました。原案通りなら、吹田

せこいぞ！吹田市長！

都合悪くなると、住民投票制度を骨抜きに？
吹田市自治基本条例を急遽修正

市は住民投票についての「先進都市」となります。つまり吹田市長自身がかつては「住民投票に積極的」だったのです。ところが、私たちが住民投票を始めると、本来なら3月議会に提案すべき自治基本条例をいったん引込めて、出してきたのが修正案です。

修正案によると、

今度の土日也大宣伝！

2月18日（土）PM2時～
千里丘いずみや前
2月19日（日）PM2時～
北千里ディオス前